

NOSAWA FLYERS

The Winning Style of the Lydias

リディア ファミリーの勝利のスタイル <前編>

Holstein Journal 2015 年 2 月 著 : Bonnie Cooper



レイブズウェル リディア
(EX92-USA-DOM-19*)

代々引き続いてショウ ウィナーを生産することに関し、今日世界で最も堅実なカウファミリーの一つが、レイブズウェル リディア (EX92-USA-DOM-19*) ファミリーである。2014 年オールカナディアン ホルスタイン コンテストにおいて、驚くべき九頭のノミネート牛がその母系のルーツをリディアへ遡る。そして、リディアの孫の孫であるボスデール ゴールド ラスター、ロトズ アットウッド リゼッテ ET、ジェイコブズ ゴールドウィン アライザの三頭は、オールカナディアンの名誉を獲得した。しかし、彼女たちはこの素晴らしい物語のたったの一部に過ぎない。

1999 年以降、33 頭のリディアの雌の子孫がオールカナディアン一般部門と 4H 部門のクラスに 48 のノミネートを受け、またオールアメリカン コンテストに 18 のノミネートを受けている。結果的に九つのオールカナディアン、七つのリザーブ、12 のオノラブルメンション (HM) オールカナディアン、そして五つのオールアメリカン、三つのリザーブ、二つの HM オールアメリカンを得た。更に、二つのオールアメリカン プロデュース オブ ダム、二つのリザーブ オールアメリカン シニア ベスト スリー フィーメール、そしてリディア ファミリーのメンバーで全頭を構成した二つの牧場がオールカナディアン ブリーダーズ ハードのノミネートを受けた。リディアの娘牛アイディー ラスターとひ孫のウィンターベイ ゴールドウィン ロトは、ロイヤル ウィンター フェアのグランドチャンピオンに輝いた。このファミリーの更に二頭が、ロイヤルとウィスコンシン州マディソンのワールド デイリー エキスポにおいてインターミディエイト チャンピオンになっている。そして彼女たちは、近年におけるショウで勝利のリボンを獲得した数多くのリディア ファミリーのうちのたった数頭である。

リディア

レイブズウェル リディアは、オンタリオ州ゲルフのレイブズウェル ホルスタインズによって繁殖され、1988 年 11 月に誕生した。ブライドン アストロ ジェット ET (EX-ST) を父に持つ彼女は、著名なスプリング ファーム フォンド パスファインダー (VG-5*) ファミリーの八代目ベリーグッド/エクセレントである。リディアは 1

歳の未経産牛として 1990 年のレイブンズウェル ディスパーサルでプリンス エドワード島 (P.E.I.) ハンターリバーのクラスデール ファームズのブライアン クラスウェルと、P.E.I.ケンシントンのウィルシム デイリー ファームのフリーマン シモンズによって購入された。ブライアンの従兄弟である P.E.I.ハンター リバーのアイディー ホルスタインズのディーン クラスウェルは、彼女が島に到着した後に彼女をこの二人から購入した。家族の牧場の購入を計画中だった若い酪農家として、ディーンは彼女を購入する為に必要な\$3500 を調達するために牛をもう一頭売らなければならなかった。

1992 年にシニア 3 歳として、リディアはスプリング ショウ オブ ザ イーストでディーンのためクラストップとリザーブ グランドチャンピオンになった。その直後に彼は彼女をバーモント州イースト モンピリアのライルヘブンに売り、リディアは怪我が彼女のショウ キャリアを終わらせる前にイースタン ステーツ エキスポポジションでのリザーブ グランドチャンピオンとワールド デイリー エキスポでの九席を彼らにもたらしした。1995 年にディーンクラスウェルはリディアの再獲得を成し得た。彼は彼女を牧場に連れて帰り、フルタイムの採卵プログラムにかけた。彼女は北米における 11 頭のエクセレント及び 13 頭のベリーグッド娘牛の母になった。見事 18 頭の娘牛がスター ブLOOD カウになった。リディアはホルスタイン カナダの 2000 年“カウ オブ ザ イヤー”のファイナリストであり、アイディー ホルスタインズによる 2004 年マスター ブリーダーの盾獲得に大きく貢献した。多くのリディア娘牛と孫娘牛がクラスウェルによって販売され、他の牧場における彼女の影響を広めた。

なぜリディアファミリーが何年経過しても未だに強くそして人気があるのかと聞かれると、ディーン クラスウェルはこう答える。「その理由は、毎年主要なショウで非常に良い成績を残す彼女のファミリーがいるからだと思う。また、牧場の中で最も優れた牛がリディアのファミリーだという酪農家が多数存在する。何年にも渡って私の所には数えきれないほどの人々が世界各国からやってきて、彼らの牧場にリディア ファミリーを所有すると教えてくれた。そのうちの多くが、そのリディア ファミリーの牛は彼らがこれまでに所有してきた中で最も優れていると言う。また、人々が自分の牧場から購入を望むのはリディア ファミリーの娘牛だ、と話すブリーダーもいた。」

ショウのスターたち

一席のリボンとチャンピオンのバラ飾りを獲得して、ショウリングで我々の注目を集めてきた非常に優れたリディア ファミリーがこれまで多数存在してきた。

アイディー ラスター (EX95-3E-USA-10*) は、約 15 年前初めてこのファミリーに世界的な注目を集めたリディアのメンバーだった。リディアの“インテグリティ”によるこのシルキーで黒い娘牛は、イヤリングとしてカナダ沿海州における数々のショウで勝ち始め、ディーン クラスウェルのため 1998 年オールアトランティック インターミディエイト イヤリングになった。ノヴァスコシア州ハリファックスで開催されたカナディアン ナショナルコンベンションの期間中に行われたジェネティック エクスプロージョン セールにおいて、ラスターが\$11,000 で P.E.I.フリータウンのレクシス ホルスタインズに売られたのは、彼女の分娩後たった三日目のことだった。六週間後、彼らはこのセールで彼女を競り合ったブリティッシュ コロンビア州ビクトリア&コブル ヒルのスタンホープ ウェッジウッドに彼女を売った。スタンホープ ウェッジウッドのゴード レンドルとリドリー ウィッケリンクの管理の下、ラスターは米国ウェスタン ナショナル ショウでリザーブ インターミディエイトになり、ワールド デイリー エキスポとロイヤルで好成績を残した後、1999 年オールアメリカン シニア 2 歳へのノミネートを受けた。2000 年、彼女はシニア 3 歳でロイヤルを一席、ワールド デイリー エキスポを二席で終えた後、オールカナディアンとリザーブ オールアメリカンを獲得した。ラスターはその後、カルガリー デイリー クラシックとブリティッシュ コロンビア スプリング ショウでグランドチャンピオンになり、2001 年 HM オールカナディアン 4 歳の賞に続

いた。

2001年ロイヤルのホルスタイン ショウ二日前、ラスターはオンタリオ州で行われたスタンホープ ウェッジウッド セールにおいて\$173,000でトップになり、メリーランド州ボールドウィンのエアハルト ファームズ Inc.に行った。その次の年、ラスターはロイヤルの5歳クラスでトップになり、2002年ロイヤルのグランドチャンピオン及びスプリーム チャンピオンの王冠を得た。その後、彼女は満場一致のオールカナディアン 5歳に選ばれることになった。当時36歳だったディーン クラスウェルにとって、ラスターのロイヤルにおける勝利は彼が言う通り夢の実現だった。「いつの日かロイヤルのチャンピオンを生産することは、若いブリーダーだった私が熱望していたことだった。」

それ以降ラスターは、二頭の娘牛のスタンホープ ラトニア リー (VG86-5*) とスタンホープ リリー ギブソン (VG86) のオールカナディアンへのノミネートと、三番目の娘牛のエアハルト ダーハム ロジック ET (EX92-USA) のオールアメリカンへのノミネートを得た。オールカナディアンやオールアメリカンにノミネートされたリディア ファミリーのリストには含まれないながらもこの物語と繋がりがあるのが、ラスターの二頭の息子、ウェッジウッド ララミー (EX96-ST) とスタンホープ ソベリン (EX96-ST) による賞を獲得した娘牛たちである。“ララミー”は、六つのオールカナディアン、一つのリザーブ オールカナディアン、そして三つのオールアメリカンを勝ち取った三頭の子を生産し、一方“ソベリン”は一頭のHM オールカナディアン娘牛を生んだ。ラスターは2015年1月10日、彼女の18歳の誕生日のちょうど10日後にエアハルト ファームズで死亡した。

リディア ファミリーで二番目にロイヤルのグランドチャンピオンの栄光を獲得したのが、**ウィンターベイ ゴールドウィン ロト (EX95-USA)** である。P.E.I.マウント ステュワート所在のウィンターベイ ファームズのバイスターベルト ファミリーによって生産されたロトは、GP84で6スターの“トライアンファント”娘牛から生まれた“ゴールドウィン”娘牛である。彼女の“ルドルフ”による祖母、アイディー ラリッサ (EX-2E-19*) は、リディア娘牛中最高のスター ブLOOD カウである。ラリッサには、2004年リザーブ オールカナディアン 4H シニア カーフのレクシス トライ ラクジュアリー (EX90-2*) を含む、六頭のエクセレントと17頭のベリーグッド娘牛がいる。ロトは2歳牛として、ブライアン クラスウェル、フリーマン シモンズ、そしてメイン州ターナーのジェイ ローバックとコネチカット州プレストンのクラーク W ウッドマンシーⅢによって入手された。2009年、シニア3歳で彼女はアトランティック サマー クラシックのグランドチャンピオンになった。その秋、彼女はウィスコンシン州のパーティー アット ザ プラネットで遅い追加牛になり、トップ価格の\$175,000でイリノイ州チェバンセ所在のジェフ バトラーとニューヨーク州バラティ所在のピーター ベイルに行った。彼女はその二日後にワールド デイリー エキスポのシニア3歳クラスで一席になり、ロイヤルで再び一席の成績を繰り返して彼女の新しいオーナーを報い、満場一致のオールカナディアン及びオールアメリカンになった。4歳でロトはワールド デイリー エキスポ二席に位置した。翌月、この美しく、良いバランスが取れ、幅広い胸をしたデイリーな牛は、2010年ロイヤルのグランドチャンピオンのバラ飾りを圧倒的な強さで勝ち取った。彼女はその年再び、満場一致のオールカナディアンとオールアメリカンになることになった。

ロトはその後、彼女が持つショウに勝つ遺伝子を、彼女の“アットウッド”娘牛で2014年オールカナディアン シニア2歳の**ロトズ アットウッド リゼッテ ET (VG89-2歳-USA)** に譲渡した。ピーター ベイル、クラーク W. ウッドマンシーⅢ、そしてウィスコンシン州ロミラのバドジョン ファームズによって所有されるリゼッテは、米国ミッドウェスト スプリング ナショナル ショウの一席、ワールド デイリー エキスポ及びウィスコンシン チャンピオンシップ ショウの二席に加え、昨年のロイヤルのこのクラスにおける一席及びベストアダーだった。彼女は

2014年オールアメリカンにもノミネートされており、コンテストからの結果を待っている所である（訳注：結果はリザーブ オールアメリカン）。リゼッテは再び妊娠し、三月中旬に分娩予定である。

バドジョン ファームズのトム カルは、ロトとリゼッテの両方と共に働く名誉を得てきた。「母と娘の間の類似点はなかなか見事だ」と彼は言う。「それは豊富なスタイルを伴う長くデイリーな彼女たちのフレームから、比類のない乳静脈と乳房の質に至る。ロトの様にリゼッテは、歳を重ねるごとに成長し続けており、我々は彼女の将来を非常に楽しみにしている！ロイヤル ウィンター フェアのチャンピオンから生まれた娘が、リゼッテ自身が持つ優美さと存在感と共に彼女の母の歩みを辿る様子を見るのは楽しみだ。」（後編に続く）



2002年、アイディー ラスター (EX95-3E-USA-10*) はロイヤル ウィンター フェアのグランドチャンピオン及びスプリム チャンピオンだった。レイブンス リディアのこの“インテグリティ” 娘牛は、P.E.I.ハンターリーバーのアイディー ホルスタインズによって繁殖され、2001年にスタンホープ ウェッジウッド セールにおいてトップ価格の\$173,000でメリーランド州ボールドウインのエアハルト ファームズ Inc.に売られた。彼女は2014年オールカナディアン ジュニア 2歳のボスデール ゴールド ラスター (VG89-2歳) の曾祖母である。
(写真: Vicki Fletcher)

2010年、ウィンターベイ ゴールドウイン ロト (EX95-USA) は、ロイヤル ウィンター フェアでグランドチャンピオンになった二番目のリディア ファミリーになった。P.E.I.マウント ステュワートのウィンターベイ ファームズによって繁殖され、イリノイ州チェバンセのジェフ バトラー、ニューヨーク州バラティのピーター ベイルによって所有されたこの“ゴールドウイン” 娘牛は、パーティー アット ザ プラネット セールにて\$175,000で取引された。彼女は2014年オールカナディアン シニア 2歳のロトズ アットウッド リゼッテ ET (VG89-2歳-USA) の母である。(写真: Ella Wright)